

無関心な世界をなくす ～教師が世界をつなぐ架け橋に～



発行所
青森県教職員組合
青森市橋本一丁目2-25
TEL 734-7279
FAX 777-1440

2019. 11. 12
第1911号

全体講演「紛争地、被災地に生きる子どもたち」

安田 菜津紀さん



講演内容

・安田さんがこの仕事に就くきっかけは、意欲をなくしていた高2のとき、先生に勧められて参加した「国境なき子どもたち」だった。そこで「トラフィックドチルドレン（売り買ひされた子どもたち）」に出会った。発展から取り残された人々や開発と同時に広がる格差を目の当たりにした。どうして子どもたちを売ってしまうのか？教育を受けてこなかった親たちは、「学校に通いながら働ける。」という甘い言葉に騙されてしまう。
2011年3月、日本では東日本

大震災が。シリアでは内戦が勃発。元々の人口2200万人のうち、1200万人が避難生活をしている。ある日突然隣りにいる人を失う気持ちはわかって、ある日突然国を追われる、しかも人の手によって...ということは想像もつかないのではないか。
・兄を失い、自らも足を失ったサラちゃん。「戦争止めて、大きい人（権力をもった人、戦争をしている人）に伝えて。」の声。わたしたちはその声にどうこたえていけるのだろうか。
・東日本大震災から8年過ぎた。子どもたち誰一人、大切なものを失っていない子はいない。でも失ったものばかりではない。今も日常に戻らない環境の中でも子どもたちは成長していく。私たちはそんな子どもたちの成長、それを支えている大人を支えていかなければならないのではないか。

・仮設住宅に住んでいるのに、シリアの子どものために、衣類を集めてくれた人たちがいる。「思おくりだよ。」と笑顔で。
・シリアで人々の声。「自分たちを本当に苦しめたもの、それは爆弾を落としたり人でも、イスラム国でもなく、こんなことが起こっていることに無関心な世界」といった言葉が心に突き刺さった。
◎人が変わるには「出会い」が大切だと安田さん。私たち教職員は、どれだけ子どもと出会うだろう。子どもたちの一生を変えるかもしれない「出会い」を日々大切にできる教育実践をしていきたいと強く思いました。

感想

・素晴らしい講演でした。学校の中だけにとどまらず、私たちが目を向けるべき事実について、具体的に自分に引き寄せて考えさせられる講演でした。目の前の子どもたちにかかわっていくか、私たちの果たすべき役割について、がんばっていきましょうという意欲がわいてきました。
・教師としては、情報としてシリアでは戦争が起きている、3・11の地震が...と伝えるのではなく、その中で生きていく人の状況や生きていく強さなどを、また自分たちができることはないかなど、様々な面から伝えていきたいと思いました。

分科会のキーワード

紙面の都合で全部を伝えられませんが
・関係性の貧困
・もやもやの共有
・子どもの発達に合った指導
・ピライチトク（一枚実践）での実践交流
・教科書のコラムの教材研究
・書くことは大切。読み合うことはその何十倍も意義深い
・ゆつたりそばにいること
・学校に切り捨てられたと思った瞬間
・何でも発達障害と呼ぶ風潮
20の分科会でそれぞれ熱い討論が繰り広げられた二日間でした。忙しいけれども、だからこそ実践し交流することが大切だと感じたつどいでした。

東北で最低の期末勤勉手当！

【2019 職員の給与改定のポイント】

- 1 月例給
 - ・初任給（大卒程度は1,500円、高卒程度は2,000円）の引上げ、30歳代半ばまでの職員の引上げ。（教員の場合：2-40で1,600円、2-60で900円、2-68以降は引上げなし）
- 2 期末・勤勉手当
 - ・年間の支給割合を0.05月引き上げる。（4.25月→4.30月）*今年4月に遡り支給

11月11日に県教委と今年の給与改定について交渉を持ちました。県教委の県人事委員会勧告どおりの提示に対して、東北6県で最低の期末勤勉手当であり、現場の教職員のやる気と小学校で2倍を割り込んだ教員採用試験の採用希望者の向上には到底ならないと、さらなる引き上げを要求しました。また、臨時教職員の2級格付けも要求しましたが、明確な回答はありませんでした。このことについては、引き続き県教委と交渉していきます。

あなたの火災保険

「自然災害に対応していますか？」



近年、増加する自然災害のリスクに備えて！

この機会に、自然災害に手厚い 全教共済の地震特約付き火災共済に！

見積もり受付中

地震特約付き火災共済の安心ポイント



加入例

自家・木造30坪
限度口数加入の場合
〈全焼・全壊
・流出の場合〉
火災 4300万円
自然災害 3200万円
地震 1700万円

掛金月額 3,895円

1. 自然災害にしっかり備える
基本契約の中で風水雪害などの自然災害に対しても補償します。更に、カーポート
塀などの設備も補償対象です。
2. 住宅の66%以上の焼破損割合で全焼扱い
3. 家財のみでも加入できます
火災共済は家財のみでも加入できますので、
住宅補償のみを用意されている方や賃貸住宅
にお住いの方にもご利用いただけます。

〒030-0823 青森市橋本一丁目2-25 5F 青森県教職員共済会(全教共済)
TEL017-732-1375 FAX017-732-1376

教育厚生会からのお知らせ

奨学生募集

入学者は3月中送金に変わります！

1. 出願資格

本会会員又は県内に5年以上在住者の子弟で、次のすべてに該当する者

- (1) 大学又は大学院に入学又は在学する者
※通信教育課程及び短期大学は除く
 - (2) 学費の負担が困難と認められる者
 - (3) 健康上修学に支障がなく学業優秀な者
・大学入学者は、出願時における卒業高等学校の全履修科目評定が5段階法において平均3.0以上とする
・大学又は大学院在学者は、当該年次において必要な所定の単位の取得が見込まれているものとする
- ※既に本会の奨学生の場合は出願できません。

2. 貸与金額

100万円(無利子) ※在学期間をととし1回のみ貸与となります。

3. 出願期間

2019年12月15日～2020年1月31日(厳守)

4. 送金時期

2020年3月中旬から随時

皆様に広くご利用いただけるよう、貸与時の連帯保証人の条件を緩和しております。詳しくは、本会ホームページをご覧ください。
奨学生募集要項及び選考願書もホームページからダウンロードできます。



出願を
お待ちしております

<お申込み・お問合せ>

一般財団法人 青森県教育厚生会
030-0823 青森市橋本一丁目2-25
TEL(017)721-1313

青森県教育厚生会

検索

教職員セミナーのご案内

スマイルカフェ

Mr.マサックが語る ^{カケル}マジック×教育実践

講師: 工藤 貴正 氏

日時: 12月21日(土)13:00～15:30(開場 12:30)

会場: 青森県総合社会教育センター
(青森市荒川字藤戸 119-7)

参加費: 無料(ドリンク・スイーツ付) ※会員外 500円

申込締切: 12月6日(金)

申込方法: 電話、FAX、メールでお申込みください

主催: 一般財団法人 青森県教育厚生会

後援: 青森県教育委員会

<お申込み・お問い合せ>

青森県教育厚生会 総務課

〒030-0823 青森市橋本1-2-25

TEL 017-721-1310 FAX 017-723-2267

E-mail soumu@a-kyouiku-kouseikai.or.jp

メールはこちらから→

